

生産者から提出をいただいております。その数量で取引業者と交渉しており、生産量がオーバーした場合は備蓄米など検討してまいります。

Q カントリーエレベーター利用について、午前の早いうちに受入れできない日もあり、計画どおり作業が進まず大変困りました。今年は急に受入中止にならないようお願いいたします。

A 昨年は、高水分の粳が多く搬入され、乾燥に時間がかかり、生産者の皆さまにはご迷惑をお掛けしました。今後は最盛期に向けて、受入れ体制、整備体制を十分検討し改善に努めます。

Q 新規就農時の相談はどこでできるのか、教えてほしいです。

A 営農企画課へご相談下さい。

その他

Q 育苗用の土について、販売を止めた業者もおりますが、JAでは大丈夫ですか。

A 取扱業者と交渉を行い、対応してまいります。

Q 今後、圃場整備が行われていく事が予想されます。主に水稻が中心となるようですが、畑作になるとなかなか難しいと思います。地域営農ビジョンもありますが、営農指導や研修会を多く開催し、JAの構想を

しっかり伝えていただきたいです。

A 地区の営農ビジョンについては、行政の「人・農地プラン」や地域との話し合いをもとに作成しております。あぜ道巡回、その他講習会を開催しておりますが、地区内でご要望がありましたら、ご連絡下さい。



機織地区

Q 年度途中で消費税率が変更になった場合の対策はどうすればよいのですか。

Q (農産物の売上や購買品の対応)

A 現在のところ、平成31年10月1日より税率を変更して計算することになると思われます。購買品についても同様ですが、まだ詳しい説明会など実施されていない状況です。今後、詳細がわかりしだい組合員の皆様にもお伝えしてまいります。

Q 現在のサ高住の状況はどうですか。

A 現在、40床に対して、38名の方が入居しております。ターミナルケアを実施しているため入所・退所する方が多い状況です。

Q 自己改革アンケートは、無記名ですが、バーコードから記載者が特定されるのではないですか。

A 本調査において、回答を個人情報と紐づけして管理は行っておりませんが、あくまでも匿名の調査となっております。バーコード番号は、各回答用紙に固有の番号であり、JA別の集計に必要な情報ですので、バーコード番号から記載者は特定されません。

Q 農業法人での税務相談について支援していただきたいです。

A 農業経営支援システムを活用して、農業法人の税務が出来るよう検討してまいります。



谷地区